

各市町村教育委員会教育長 }
各市町村立小・中・義務教育・特別支援学校長 } 様

埼玉県教育局教育総務部教職員課長（公印省略）

令和 7 年 4 月 1 日付け昇給に係る勤務状況報告書の提出について（依頼）

令和 7 年 4 月 1 日付け昇給の事務処理に当たり、学校職員の勤務状況を把握する必要がありますので、下記のとおり勤務状況報告書等の提出をお願いします。

記

1 提出先及び提出期限

提 出 者	提 出 先	提 出 期 限
市町村立 小・中・義務教育・特別支援学校	管轄の市町村教育委員会	管轄の市町村教育委員会が定める日
市町村教育委員会	管轄の教育事務所	管轄の教育事務所が定める日

2 提出書類

(1) 勤務状況報告書（別添様式）

※ 該当職員がいない場合も「該当なし」で提出してください。

(2) A 4 判に縮小した令和 6 年度の出勤簿の写し

※ 令和 6 年 4 月 1 日をまたいで「休職・育休等」を取得した場合は、当該「休職・育休等」の開始年度分から提出してください。

※ 懲戒処分のみの場合は提出不要です。

3 作成上の留意事項

<用語の説明>

休職・育休等	休職、育児休業（育児部分休業は報告不要）、海外派遣、大学院修学休業、自己啓発等休業、配偶者同行休業、修学部分休業及び高齢者部分休業をいいます。
病 休 等	病気休暇（公務上又は通勤途上の災害による傷病に係る病気休暇を含む。）、介護休暇及び欠勤をいいます。 ※産前産後休暇・妊娠障害休暇などの特別休暇、年次休暇及び職専免は含みません。

(1) 作成上の基準日

《 1 回目 》	令和 6 年 1 2 月 3 1 日現在
《 2 回目 》	令和 7 年 2 月 1 5 日現在 ※変更・追加のある場合のみ提出

(2) 報告対象者及び報告事項

共通報告事項 ⇒ 職員番号、職名、年齢及び現在級号給

報 告 対 象 者 (臨時的任用職員、任期付職員、任期付 短時間勤務職員、定年再任用短時間勤 務職員、暫定再任用職員、年度末退職者 は報告不要)		報 告 事 項
令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 3 1 日ま でに	ア 「休職・育休等」の 期間がある職員	○「休職・育休等」の種類及び発令期間 ※「病休等」の期間がある場合は、 <u>その全て</u> を1時間単位から報告 下記4の例1～8参照
	イ 30日以上「病休 等」の期間がある職員	○「病休等」の種類及び承認期間 ※承認日数が30日未満の場合、報告不要 下記4の例10参照
	ウ 育児短時間勤務職員 として勤務した期間が ある職員	○育児短時間勤務該当の有無 ○育児短時間勤務の期間及び週当たりの勤務時間 ※「病休等」の期間がある場合は、 <u>その全て</u> を1時間単位から報告 下記4の例9参照
	エ 懲戒処分を受けた職員	○処分の種類及び発令年月日
オ	令和7年4月1日付けで 「休職・育休等」が発令される見 込みの職員	○「休職・育休等」の種類及び発令予定期間 別添記入例参照

<留意事項>

- ※ 重複して該当する場合は、それぞれの報告事項について報告してください。
- ※ 「休職・育休等」、「病休等」を取得・延長見込みの職員も報告してください
(見込みで報告後、変更が生じた場合は速やかに変更の報告をしてください)。
- ※ 令和6年4月1日をまたいで「休職・育休等」を取得している場合は、当該「休職・育休等」が発令された日から報告してください(「病休等」に引き続いて、「休職・育休等」が発令されている場合は当該「病休等」の開始日から報告してください)。**下記4の例4・5・7・8参照**
- ※ 2種類以上の「病休等」を取得している場合で、それぞれの承認日数を合計すると30日以上になる場合(例：介護休暇20日、病気休暇10日)は、報告の対象となります。
- ※ 時間単位の「病休等」の取得は7時間45分で1日とします。
例) 時間単位の病気休暇を5回取得(合計20時間)
→2日と4.5時間 (15分=0.25時間と計算)

(3) 報告後の留意事項

2 回目の報告以降、令和 7 年 3 月 31 日までの間に前記 3 (2) の報告事項が生じた場合は、随時追加報告を行ってください。

追加報告が遅れた場合、昇給号給数に誤りが生じることがあるので注意してください。
(別添資料も確認してください。)

【例 1】基準日現在では、「病休等」の取得日数が 30 日未満であったが、基準日以降に 30 日以上となった場合（3 月下旬に 30 日以上となった場合、報告漏れがないよう注意してください。）

【例 2】「休職・育休等」の期間のある職員が、基準日以降に新たに「病休等」（時間単位の「病休等」も含みます。）を取得した場合

【例 3】病気休暇・休職（私傷病）を取得していたが、公務上又は通勤途上の災害として認定されたため、服務が、公務上又は通勤途上の災害による傷病に係る病気休暇・休職に変更された場合（認定の決定が年度をまたぐ場合もあるため、注意してください。）

4 勤務状況報告書の報告例

太枠の部分が報告対象事項です。

【例 1】令和 6 年 4 月 1 日以降に病気休暇を取得し、その後に休職となった場合

R6. 4. 1

復職 R7. 4. 1

勤務	病気休暇	休職	勤務
----	------	----	----

【報告する事項】病気休暇・休職

【例 2】令和 6 年 4 月 1 日をまたいだ病気休暇を取得し、その後休職となった場合

R6. 3. 1

R6. 4. 1

復職 R7. 4. 1

病気休暇	病気休暇	休職	勤務
------	------	----	----

【報告する事項】病気休暇 (令和 6 年 4 月 1 日以降のみ) ・休職

【例 3】令和 6 年 4 月 1 日以降に休職を 2 回取得した場合

R6. 4. 1

復職

復職 R7. 4. 1

勤務	病気休暇①	休職①	勤務	病気休暇②	休職②	勤務
----	-------	-----	----	-------	-----	----

【報告する事項】病気休暇①・休職①・病気休暇②・休職②

【例 4】令和 6 年 4 月 1 日をまたいだ休職となり、令和 7 年 4 月 1 日付け復職が予定されている場合

R5. 4. 1

R6. 4. 1

R7. 4. 1

勤務	病気休暇	休職
----	------	----

【報告する事項】病気休暇・休職

例 5 令和 6 年 4 月 1 日をまたいだ休職から一度復職し、再び休職となった場合

R5. 4. 1

R6. 4. 1 復職

復職 R7. 4. 1

勤務	病気休暇①	休職①		勤務	病気休暇②	休職②	勤務
----	-------	-----	--	----	-------	-----	----

【報告する事項】 病気休暇①・休職①・病気休暇②・休職②

例 6 令和 6 年度から令和 7 年度にまたがって休職が承認されている場合

R6. 4. 1

R7. 4. 1

復職

R8. 4. 1

勤務	病気休暇		休職	勤務（予定）
----	------	--	----	--------

【報告する事項】 病気休暇・休職 （承認されたすべての期間）

※令和 7 年 3 月 31 日までの報告としないでください。

（令和 7 年 4 月 1 日付け復職との誤りを防ぐため）

例 7 令和 6 年 4 月 1 日をまたいだ育児休業があり、令和 7 年 4 月 1 日付け復帰が予定されている場合

R5. 4. 1

R6. 4. 1

R7. 4. 1

勤務	産前産後		育児休業
----	------	--	------

【報告する事項】 育児休業（産前産後休暇は報告不要）

例 8 令和 6 年度から令和 7 年度にまたがって育児休業が承認されている場合

R6. 4. 1

R7. 4. 1

復帰

R8. 4. 1

勤務	産前産後		育児休業	勤務（予定）
----	------	--	------	--------

【報告する事項】 育児休業 （承認されたすべての期間）

※令和 7 年 3 月 31 日までの報告としないでください。

（令和 7 年 4 月 1 日付け復帰との誤りを防ぐため）

例 9 令和 6 年 4 月 1 日以降に育児短時間勤務をした場合

R5. 4. 1

R6. 4. 1

復帰

R7. 4. 1

勤務	産前産後		育児休業	育児短時間勤務
----	------	--	------	---------

【報告する事項】 育児休業・育児短時間勤務・育児短時間勤務中の病休等

例 10 令和 6 年度から令和 7 年度にまたがって病気休暇が承認されている場合

R6. 4. 1

R7. 2. 1

R7. 4. 1

復帰

R7. 4. 1

勤務	病気 休暇	病気 休暇	勤務（予定）
----	----------	----------	--------

【報告する事項】 令和 7 年 3 月 31 日までの病気休暇

勤務状況報告書提出に係る留意点について

以下の点に注意の上、勤務状況報告書を提出してください。

- 勤務状況報告書提出後、報告内容に変更があった場合は、必ず変更内容を反映させた追加報告を行ってください。

※ 特に、年度末新たに報告対象事項（例 令和7年4月1日から育休を取得することになった者など）が生じた場合は、報告漏れのないよう注意してください。

勤務状況報告書は、適切な昇給処理を行うための重要な資料です。依頼文の「3 作成上の留意事項（2）」に掲げる報告対象者の報告が漏れている場合、昇給号給数に誤りが生じ、後日、給与の追給や戻入が発生する可能性がありますので、ご注意ください。

記入例

様式

令和〇年〇月 勤務状況報告書（令和〇年〇月〇〇日提出）

所 属 ・ コー ド		所 属 長 名																					
氏 名		教育事務所が使用するので記入しない。																					
職員番号		2 回目以降の報告は該当者だけを報告する。																					
職名	年齢	現在級号給			休職等が R6.4.1を またいで いる場合	育児短時間勤務職員			休職等の種類	休職・休業期間		承認 月数	承認 日数	休暇等の種類	病気休暇等承認期間		時間 単位	承認 日数	承認 時間	実日数 ※教育事務 所使用欄	懲戒処分 種類	懲戒処分 年月日	
	R7.4.1現在	表	級	号給	発令年月日	該当	期間	週当たりの 勤務時間		始期	終期				始期	終期							
埼玉太郎 111111	教諭	30歳	教育職 (2)	2級	41号給	R6.4.1	レ	R6.4.1 ～ R7.3.31	19時間25分						病気休暇（私傷病）	R6.4.5	R6.4.7		3			戒告	R6.11.9
															病気休暇（私傷病）	R6.10.3	R6.10.3		1				
															病気休暇（私傷病）	R6.10.5	R6.10.5		1				
															病気休暇（私傷病）	R6							
															病気休暇（私傷病）	R6							
育児短時間勤務職員に該当する場合、 チェックを入れること。										1週間当たりの勤務時間数を選択すること。				時間単位の休暇等を取得した場合、「時間単位欄」 にチェックを入れ、「承認時間欄」に休暇等時間数を 直接入力すること。									
育児短時間勤務の期間を記入すること。										計		0	0	計									
															病気休暇（私傷病）	R6.10.17	R6.10.17	レ	1				
															病気休暇（私傷病）	R6.11.15	R6.11.15	レ	4				
															病気休暇（私傷病）	R6.11.28	R6.11.28		1				
2段で報告する場合省略して構わない。										休暇等が1段目で記入しきれない場合は、 2段目に記入すること。													
計										0	0	計											
埼玉花子 222222	事務主任	35歳	事務職	3級	41号給	R5.4.1	レ			育児休業	R5.11.14	R7.3.31	16	18									
休職等がR6.4.1をまたいでいる場合、 チェックを入れること。										(R7.9.30まで延長予定)													
添付する「出勤簿の写し」は 当該休職等の開始年度(この例では R5.4.1)から提出すること。										育児休業が承認されている年月日まで記入すること ただし、承認前であるが育児休業等の延長が見込まれる場合は その年月日を記入し、「予定」であることを余白に明記すること。													
計										16	18	計											
川越桃子 333333	教諭	29歳	教育職 (2)	2級	37号給	R6.4.1				大学院修学休業													
										(R7.4.1からR8.3.31まで発令予定)													
										令和6年度に休職等・休業等がない場合でも、令和7年4月1日付け で休職等が発令される見込みの場合は、承認前でも見込みの期間を 記入し、「予定」であることを明記すること。													
計										0	0	計											